令和６年度学校評価

本年度の 重点目標	⑴ カリキュラム・マネジメント　【つながりを大切にする学校】 ア １２年間の学びの連続性を意識した各部の教育活動の体系化 イ　校内支援体制や職員研修の充実によるＰＤＣＡサイクルを活用した授業改善 ウ　社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育成するキャリア教育の充実 ⑵ スクール・マネジメント　【安心安全な学校・地域と共にある学校】 ア　学校事故の未然防止及び安全な校内指導体制の構築 イ　防災教育（避難訓練等）による危機回避能力の向上や在校時の発災における避難生活のシミュレーション ウ　保護者、地域との連携促進と学習環境改善を通した学校づくり ⑶ スタッフ・マネジメント　【高い教師力のある学校】 ア ＩＣＴの活用を通した学習支援の充実と校務の効率化 イ 人権に配慮した質の高い教育の実践 ウ 業務の精選と勤務時間の自己管理の徹底		
担 当 ・ 項 目		具 体 的 方 策	留意事項
小　学　部	⑴イ	生活自立に向けて、落ち着いて自発的に行動する基礎の力を育てる。	・事前に支援方法について共通理解を図り、学習後に達成度の情報交換をする。 ・個に応じて視覚的支援や教室環境等を整える。 ・ICTを効果的に活用した授業実践に取り組む。
中　学　部	⑴ア	様々な学習活動を通して、これまで身に付けた力を、社会自立に向けて、集団の中で発揮できるようにする。	・卒業後の社会自立を意識した活動につなげるための、学習活動の充実を図る。 ・小学部、高等部や地域の関係機関と連携しながら取り組む。
高　等　部	⑵ウ	これまでに身に付けた力を、社会の一員として発揮できる力をつける。	・一人一人のこれまでの育ちと学びを大切にし、数年先を見通した指導・支援を大切にする。 ・保護者、進路先、行政、福祉、医療機関等と連携しながらチームで取り組む。
教　務　部	⑴ア	連続性のある学びやすい目標設定をする。	・年間指導計画の目標について、連続性を確認しながら進める。 ・他の校務と連携して進める。
進路指導部	⑴イ	施設見学研修や外部講師による職員、保護者向けの進路に関する研修会を行う。	・保護者、教育支援部、研修研究部と連携しながらチームで取り組む。
教育支援部	⑴イ	外部の専門家を活用した事例検討会を実施し、指導内容・方法の充実を図る。	・職員研修を計画的に実施し、児童生徒の支援に生かせるようにする。 ・事例検討会を通して、問題解決の視点を共有する。
総　務　部	⑵ウ	持続可能なPTA活動を目指し、役員と連携しながら効率のよいPTA活動の進め方を検討する。	・役員や会員に無理なく活動できるよう、PTAの仕事の整理をする。 ・ICT機器等を活用し、煩雑さの解消を図る。
生徒指導部	⑵イ	避難訓練・防災教室・シェイクアウト訓練の内容の検討・見直しに取り組む。	・関係機関(消防署等)からの助言を参考にし、訓練等の内容の検討や見直しをする。 ・シェイクアウト動作が定着できるように事前・事後指導をおこなう。
保健体育部	⑵ウ	学校歯科医、職員、保護者との連携を深め、啓発活動を行い、歯磨き習慣の定着を図る。	・学校歯科医の協力を得る。 ・高等部での教科保健体育と連携した取組行う。 ・集会等の活用を図る。
研修研究部	⑶ア	ICTを効果的に活用した授業実践に取り組む。	・児童生徒一人一人のニーズを捉える。 ・ニーズに合わせたICT機器の活用方法の知識を深める。
情報図書部	⑶ア	児童生徒一人一台タブレット端末を通して学習支援の充実を図るための研修や研究を行う。	・研修研究部と連携し、ICTを効果的に活用した授業実践の研究を進める。 ・ICT支援員と連携し、様々なICTについての研修が受けられる機会を設ける。
学校関係者評価を実施する主な項目		・カリキュラム・マネジメント ・スクール・マネジメント ・スタッフ・マネジメント	